

私たちが身近にできること —『やさしい日本語』を学ぼう—



あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。

様々な人が一緒に生活していくための地域の共通言語、コミュニケーション方法として「やさしい日本語」が注目されています。

西東京市には、おおよそ市民 100 人のうち 3 人、約 6,700 人の外国人住民の方が暮らしています(令和 7 年 9 月現在調べ)。

講座では、様々な人が共に生活していく多文化共生社会へ街が変化していくなかで、誰でもが生活しやすい場所になっていくために、私たちが身近にできることとして西東京市の施策を聞いたり、普及に尽力されている専門家から「やさしい日本語」について学びます。

- ◆ 日 時：①11 月 8 日（土） 午後 2 時～午後 4 時
②11 月 15 日（土） 午後 2 時～午後 4 時
③11 月 22 日（土） 午後 2 時～午後 4 時 全 3 回

◆ 【プログラム】

回	日にち	テーマ	講 師
1 ・ 2	11 月 8 日 ・ 11 月 15 日	やさしい日本語を学ぶ —多文化共生社会の共通語として— ※参考図書「やさしい日本語—多文化共生社会へ」（岩波新書 1617）	庵（いおり）功雄（いさお）氏 （一橋大学国際教育センター教授）
3	11 月 22 日	我が街の現状を知る・将来を創る ① 西東京市の多文化共生施策について ② 外国住民の悩み、課題について	① 文化振興課職員 ② NPO 法人西東京市多文化共生センター相談員

- ◆ 対 象：市内在住、在勤、在学者優先
- ◆ 定 員：20 人（申込順 3 回とも参加の方優先）
- ◆ 申 込：10 月 3 日（金）10 時から、電話か申込フォームで保谷駅前公民館へ（申込順）



申込フォーム

【講師紹介】

◆ いおり いさお 氏（一橋大学国際教育センター教授）



大阪府出身で、大阪大学大学院博士課程を修了し、博士（文学）を取得しました。大阪大学文学部助手を務め一橋大学留学生センターの専任講師を経て、現在は一橋大学国際教育センターの教授です。

「やさしい日本語」の普及のために精力的に講演や指導を行うだけでなく、ホームページなどを開設されています。

著書には、『あたらしい日本語学入門（第2版）』2012年、スリーエーネットワーク）、『「やさしい日本語」は何を目指すのか—多文化共生社会を実現するために』（2013年、ココ出版、共編著）、『やさしい日本語—多文化共生社会へ』（2016年、岩波書店）、『〈やさしい日本語〉と多文化共生』（ココ出版、2019年、共編著）などがあります。

◆ NPO 法人西東京市多文化共生センター（NIMIC）



2006（平成18）年に20名の市民ボランティアによって設立されたNPO法人で、「ともに住み、ともに生きる」というキャッチフレーズのもと、西東京市から「西東京市多文化共生センター」の運営を委託されるなど行政やNPO組織、教育機関と連携し、異なる文化的背景を持つ人々が地域で快適に暮らせる「多文化共生社会」の実現を目指して活動しています。

【問合せ・会場案内】



● 申込・問合せ先 西東京市保谷駅前公民館
〒202-0012

西東京市東町3-14-30 ステアビル4階

電話 042-421-1125

FAX 042-421-7780

E-mail ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

● 協力 文化振興課